

北海道鍼灸専門学校
令和4年度学校関係者評価委員会
評価報告書

令和5年

北海道鍼灸専門学校 学校関係者評価委員会

I 総評

令和4年度学校関係者評価について、次のとおり評価結果を報告する。

北海道鍼灸専門学校は教育理念である「礼節と心の人間教育」、教育方針である「実学教育」を実現するため、学術、技術の研鑽のみならず、社会生活を営む上で欠かせない礼儀を大切にしており、挨拶から授業態度にいたるまで、礼儀を重んじた心の教育を基本理念とし、北海道初の鍼灸専門の厚生大臣認定校として昭和49年（1974年）に誕生した。以来東洋医学の体系的な教育機関として、はり師、きゅう師の教育に専念している。

昨年と同様に学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められており、社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を持っていると評価する。教育理念、教育方針、教育目標は適切な方法・媒体によって、学内外に周知されているものと評価する。またディプロマ・ポリシーを策定している点も評価する。今後、教育理念を伝える授業についての必要性の検討も期待する。

教育活動、学習評価に関しては改善を要する点としては実践的な職業教育につながるように定期的な学生アンケートの実施、授業別の講義録などを行っている点評価するが、授業評価に関する学生アンケートの実施ではなく、オンライン授業に関するアンケートを行っており、オンライン授業の継続を計画している点評価する。令和5年度は例年通りアンケートを行うよう希望する。また更に外部関係者からの授業評価や教員相互の授業参観（授業の録画とそれを基に討議を行うことを含む）、学生の講義録の作成を行い更なる授業の質の向上を期待する。また新型コロナウイルス感染症など感染症の拡大防止の配慮としてパソコンやモバイル端末を使用した双方向型の授業を行う仕組みについては充実したものとなってきたが、実技の自学自習用のオンラインツールの作成を期待する。

学生の就職率の向上、職業意識を高めるための方略として、就職活動支援課を中心として開業している鍼灸治療院、企業、関連する専門学校を招聘しガイダンスを行っている点と、それにより就職を希望している学生が100%就職できている点評価する。

資格取得率の向上については、3年次の授業内での指導、国家試験対策授業、国家試験対策動画、国家試験対策アプリケーションの作成授業時間外を利用した補講、個別補講を実施しているが、更なる資格取得率の向上を期待する。今後も学生の就職率や職業意識の向上、資格取得率の向上についての努力を期待する。

学習支援、学習成果、就職支援に関してクラス担任を置き、定期的な面談を行うことで、学生の退学率の軽減や、学習支援につながっている点評価する。また学生の経済的支援については、「専門実践教育訓練給付金制度」、「大学等修学支援法による給付型奨学金」、「北海道柔道整復専門学校とのダブルスクール制度」、「AO（アドミッション・オフィス）入試の受験料の減免」、「北海道鍼灸専門学校奨学金」などの導入をしている点、高く評価できる。高等学校において行う出前授業である「鍼灸師という職業に関する講義」の実施や中学生の「職場体験学習、上級学校訪問」の積極的な受け入れは高く評価できる。今後も継続して行っていくことを期待する。

教育環境について施設は設置基準に則り、十分な環境を満たしている。今後も学生の学びの場として、適正な教育環境の拡充を期待する。また図書館の蔵書冊数の充実を期待する。北海道においても台風や地震、雪害による被害が各地で増大しているため、今後は危機管理マニュアルの再構築や非常時持ち出し資料の決定・周知の徹底災害時タイムライン、地震時の避難先マップなど早急に構築されることを引き続き引き続き期待する。

社会貢献、地域貢献については「学校祭」などの催しによる地域社会への積極的参加など、本校の物的、人的資源の地域への提供が着実に実践されている点評価する。また地域住民、町内から愛される学校を目指し、騒音、駐車場などの苦情がないよう引き続き期待する。

学生、留学生の受け入れ、学校運営、財務、法令遵守に関しては今後も引き続き適切に実施しており評価する。今後も適切に運用されることを期待する。

II 項目ごとの評価

項目 I. 教育理念・教育方針に関して

昨年と同様に学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められており、社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を持っていると評価する。教育理念、教育方針、教育目標は適切な方法・媒体によって、学内外に周知されているものと評価する。またディプロマ・ポリシーを策定している点も評価する。平成30年度教育課程から行われる、教育理念を伝える授業についての必要性の検討も期待する。

項目 II. 教育活動、学習評価に関して

昨年と同様に授業科目の設定、教育目標を達成するために教材や授業方法が適切かどうかなど、常に点検を行い、改善に努めていると評価する。また「ゼミスキルアップコース」について実践的な教育であるため評価できる。外部実技評価を導入している点についても高く評価できる。また成績評価、進級・卒業要件も明確に規定され、学生に周知されており、評価も適切に行われている。シラバスや学生便覧等を改訂し、出席管理や評価基準が明確化していることも評価する。

学生生活に関しては行事や研修会への参加を促すことにより学生相互の親睦や職能団体との交流を促していること等高く評価できる。また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全学年オンライン授業（オンラインと対面授業の選択制）を行っている点など段階的に行事などな開催基準を緩和し、学生同士の交流などを促している点評価する。

キャリア教育としては本校附属臨床実習センターにおける臨床実習を2年次、3年次に行い、鍼灸臨床を実際に経験させていることや、校内（授業内外）での企業（治療院）の就職ガイダンス、北海道鍼灸師会主催の各種講習会への学生参加を促し、職能団体との交流を行っている点評価する。

教員の教育活動を活性化するための取組みとしては、北海道大学、札幌医科大学の特別研究生、訪問研究員に専任教員を推薦し、研究を推進している点や、鍼灸学会や医学関連学会への積極的な参加・研究発表を行うことにより、教育力・指導力を高めている点評価する。

要望としてはキャリア教育や、実践的な職業教育に立ったカリキュラムの更なる開発について今後、教育課程編成委員会と連携した改変を期待する。また授業の質の向上について授業評価に関する学生アンケートの実施ではなく、オンライン授業に関するアンケートを行っており、オンライン授業の継続を計画している点評価する。令和5年度は例年通りアンケートを行うよう希望する。今後改善を要する点としては実践的な職業教育につながるように外部関係者からの授業評価や教員相互の授業参観（授業の録画とそれを基に討議を行うことを含む）、学生の講義録の作成を行い更なる授業の質の向上を期待する。

項目Ⅲ. 学生支援、学習成果、就職支援に関して

学生の就職率の向上、職業意識を高めるための方略として、就職活動支援課を中心として開業している鍼灸治療院、企業、関連する専門学校を招聘しガイダンスを行っている点と、それにより就職を希望している学生が100%就職できている点評価する。

資格取得率の向上については、3年次の授業内での指導、国家試験対策授業、国家試験対策動画、国家試験対策アプリケーションの作成授業時間外を利用した補講、個別補講を実施しているが、更なる資格取得率の向上を期待する。

学習支援、学習成果、就職支援に関してクラス担任を置き、定期的な面談を行うことで、学生の退学率の軽減や、学習支援につながっている点評価できる。またクラス担任と保護者との連携もなされている点評価できる。令和4年度は例年に比べ退学者数が増えたため更なる努力を期待する。また学生の経済的支援については、「専門実践教育訓練給付金制度」、「大学等修学支援法による給付型奨学金」、「北海道柔道整復専門学校とのダブルスクール制度」、「AO（アドミッション・オフィス）入試の受験料の減免」、「北海道鍼灸専門学校奨学金」などの導入をしている点、高く評価できる。また令和5年度は「創立50周年記念事業特別給付金」、「早期入学応援制度」、「単位互換制度」など入学支援制度を更に拡充する点評価する。

項目Ⅳ. 教育環境に関して

施設は設置基準に則り、十分な環境を満たしている。また定期的に校内の機器備品を整備している点、高く評価できる。今後も学生の学びの場として、適正な教育環境の拡充を期待する。また図書館の蔵書冊数の充実を期待する。

危機管理体制については普通救命講習や避難訓練を行う点は評価できるが、北海道でも台風や地震、雪害による被害が各地で増大しているため、危機管理マニュアルの再構築や非常時持ち出し資料の決定・周知の徹底災害時タイムライン、地震時の避難先マップなど早急に構築されることを引き続き引き続き期待する。

項目Ⅴ. 学生の受け入れ募集に関して

教育理念・方針を学外に明確に示すためにホームページや学校案内等さまざまな広報活動を行っている。入学者選抜は、入学要件を定め、適切に実施していると評価する。

項目VI.学校運営、財務に関して

役員などの選考や採用に関する規程は明確であるとともに、組織運営にかかわる規程が整備されており、教育理念および教育目標を実現するため必要な管理運営体制が整えられている。また定期的に教職員会議を行って教職員間のコミュニケーションを図り、学校運営が円滑に行われるよう連携強化を図っている点も評価できる。私立学校法における財務情報公開の体制の早急な整備もなされたことを評価する。

項目VII.社会貢献、地域貢献に関して

学校祭を開催し、鍼灸治療、無料治療体験、模擬店などを開催し、地域住民との交流を図っている。特に本年度は学校祭における地域商店の出店等もあり、学校の施設を活用した社会貢献・地域貢献をしている点評価する。また10月には恵庭市、北海道文教大学と共催して「恵庭×養生メソッド」を開催し、東洋医学の養生の考えについて普及・啓発を行っている点や令和5年4月には学校近隣のレストランで「養生メソッド×Cafe&Trattoria Polaris 春spring」に学生を動員していることなど今後積極的に行うよう期待する

項目VIII.国際交流に関して

国際交流の一環として留学生2名を受け入れている点、高く評価できる。また日本の鍼灸技術を海外に広く伝え、世界各地における医療の向上につなげるための外国人留学生奨学制度を導入し、卒業生を輩出した点評価できる。今後も制度を適切に運営することを期待する。

項目IX.法令等遵守に関して

組織倫理に関する種々の規程や規則に基づいて業務が行えており、適切に運用されていると評価する。また規程等が適切に運用されるように努力し、改善、見直し等を継続的に推進する姿勢も伺える。

ハラスメント対策委員会を設置してハラスメントに関するガイドラインの一層の充実に努める姿勢が伺えるため、ガイドラインの早急な策定、学生、教職員への周知徹底を強く期待する。